

広報



## ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課 電話(018876) 代 2100番  
 印刷所 潮東印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円  
 郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

## 国保税を納めましょう

最近医療費支払いの急増によって国保財政が困窮しております。国保は相互に助け合う保険ですので、保険料は一人の滞納者もなく納めていただかねばなりません。医療費給付の恩恵のみ受けて保険料が未納になっている方がおります。そうしたことが被保険者全体に迷惑を及ぼすことになりますので、特段のご理解とご協力をお願いします。

なお、他の税と比較してと思いますが国保税が高いという声もあるようですが、それは現在の医療費の上昇からしてご理解いただきたいものです。



二十二年前の感激を今ここに

異国で敗戦を迎え、寒さと飢えにおびやかされながら、捕虜又は囚人として監獄生活を送っているさなか、郷土秋田県から、それも五城目町富津内婦人会から慰問品が届いた。県出身者16名は、これほどして喜び、望郷の念に涙を流した。このご恩は一生忘れまい故郷に帰ったら必ずお礼に伺おうと、心に誓ったのは昭和27年であった。去る3月17日、富津内西婦人会の総会があった。それが22年振りに誓いを果す日でもあったのである訪れた侍3人、その名は、安藤順四、松井勢之助、松本民治の各氏であった。

北朝鮮の西郷国境ハローラントン附近で閑東軍に対する最後の抵抗拠点として、地下要塞をこしらえるが、聞もなく敗戦。

日本人は、即捕虜又は犯罪者として連行され、一方的な裁判の結果、ソ連の刑法58条にもとづき、25年から50年の刑が科せられた。日本のために戦った民が、その相手国に罪を科せられ、敵国の開発に強制就労させられるという犯し難い矛盾をかかえながら、日本人捕虜は、シベリアの炭坑、道路、森林の開発に身を碎いた。

## 異国監獄に慰問品

～22年ぶりに誓を果す～

食物は極端に悪く、食堂で捨てたジャガイモの皮、そして家畜用のキャベツの残葉を拾っては食べた。穀物のスープを飲んでは栄養失調となり、同志は次々と帰らぬ人となってしまった。命をつなぐ為失われるもの何でも売った。金の入れ歯は勿論、耳を買う人がいれば売ろうとした。そんなどん底の生活にあえいでいる時、赤十字を通じて、富津内婦人会の慰問品が県出身者に届いたのである。地獄に

に仏とは正に名言。郷土のかんづめ、シャツ類、くつ下等心温まる贈り物に男達はどうこうした。そしてストライキもやった。

死は覚悟の上で、もぎとられた北方領土を中心するつもりで決行したのである。俺達はどうでもよい、祖国の復活だけが念頭を離れなかつた。しかし、完全武装の軍隊にホースで水を浴びせられ、捕虜達の願いは水泡と帰した。31年8月、全くの手ぶらで祖国の土を踏んだ。待っている筈の妻もあり、家の中にもすわるところがなかった。こんなに厳しく美しい思い出の中での慰問品の温みが自分達を何十年も支えてくれた。これは人間ののみが知る尊い心の愛であるからだらうか。

はうどうでもよい、祖国の復活だけが念頭を離れなかつた。しかし、完全武装の軍隊にホースで水を浴びせられ、捕虜達の願いは水泡と帰した。31年8月、全くの手ぶらで祖国の土を踏んだ。待っている筈の妻もあり、家の中にもすわるところがなかった。こんなに厳しく美しい思い出の中での慰問品の温みが自分達を何十年も支えてくれた。これは人間ののみが知る尊い心の愛であるからだらうか。

一筆啓上火の用心  
佐藤良蔵  
五城目町消防署  
本年は時あたかも五城目町消防  
一〇〇周年に当ります。  
この運動を終結として火の用心  
に徹し、錦上花を添えないものだ  
と思って居ります。

年に実行出来る筈であるが、実際に全く忘れられている。それはそのためだれかの不注意で火災は絶えないので実情です。昔から「火の用心」ということはが繰り返し叫ばれていて、世の中一番大切な実行出来る筈である。しかし、最も簡単なのが実行出来る筈である。しかし、実際には全く忘れられている。これはそのためだれかの不注意で火災が実施されます。

本格的な火災シミュレーションを迎えて来る四月十六日から四月二十二日まで全県一齐に春の火災予防運動が実施されます。

本年は時あたかも五城目町消防



佐藤良蔵

五城目町消防署

広報サロン

一筆啓上火の用心









